

亀ちゃんの「マネージメントノート」

といい間違いをしていました。可哀想と思うより、不謹慎ですが笑ってしまいました。

そういえば、**海の藻屑(モクス)**と言うところを、**海のもズク**と言ったアナウンサーもいましたね。タレント松居直美さんは、着物姿の相手に向かい「すてきなチリメンジャコですね。」と言ったそうですが、言い間違いは誰にでもありますね。言い間違いで有名なのは、タレントの三宅祐司さんの奥さんです。

歯医者診察台に座ったとき **「口紅を拭いてください」と言われ「口笛を吹いた」**

励まそうとして **「ダメで元々なんだから」と言おうとして「元々ダメなんだから」と言った**

不細工な顔で悩んでいる人に **「人間顔じゃないよ」と言おうとして「人間の顔じゃないぞ」と言った**

夫婦喧嘩になって、部屋を出ようとしたとき **「どいてよ」と言おうとして「抱いてよ」と言った**

楽しんでいただけましたか？ 本当に日本語って難しい。税務署の窓口大丈夫かなあ???

お洒落な話？

ところで、皆さん。「酒」という漢字の部首は何だと思いませんか？ 多分半分以上の方は「シ」（サンズイ）と解答されると思いますが、実は「酉」（トリヘン）なんです。

もともと、酒を表す漢字は「酉」だけなんです。サンズイはありませんでした。漢和辞典でも、サンズイの部ではなく、トリの部に入っています。もともと、「酉」の字は、酒壺を表す象形文字から生まれました。

最初は、シタのとがった当時の酒壺そのままの形ですが、後になるにしたがって、底が平たくなり、ついにはサンズイを付けて液体を表すようになりました。

この「酉」を使った漢字には、酒にまつわる漢字が多いんですね。漢和辞典を調べると、「酉」の付く漢字が61字あります。

例えば「酌」（シャク）という漢字があります。これは、酉とひしゃくの意味から、「勺」で酒をくむこととなります。晩酌は、夜に酒をくむ……注ぐという意味です。

酉を二杯も飲んだら、名前も忘れるほど「酪 酌」して、

酉を九杯・十杯飲んだら、「酔」っぱらってしまいます。

飲みすぎて、酉が甘く感じられるようになったら「宴も酣（タケナワ）」です。

飲みすぎて、鬼のようになり「醜」い姿をさらさないよう、星空を見上げて、酔いを「醒」まします。

お世話になりました 感謝しています



亀ちゃんこと

伊勢税務署長

亀嶋 千明